

地域見守り協力員事業と 情報紙訪問配布事業

新宿区で「ぬくもりだより」をお配りしながら高齢者を見守る事業は、新宿区福祉部高齢者支援課の「情報紙訪問配布事業」と新宿社協の「地域見守り協力員事業」の二つがあります。

情報紙訪問配布事業は、月に2回、配布員が75歳以上の一人暮らしの方のご自宅を訪問し、元気な様子を確認しながら情報紙「ぬくもりだより」をお届けします。

地域見守り協力員事業は、新宿社協がコーディネートし、地域のボランティアが見守り・声かけを行います。詳細は[地域見守り協力員事業](#)をご参照ください。

二つの見守り事業の違いは、以下のとおりです。

ご本人の状況	新宿区 情報紙訪問配布	新宿社協 地域見守り協力員
家族と同居しているが、 日中に一人になる。	対象外	<u>利用可能</u>
近隣に家族が住んでおり、 頻繁に交流があるが、 訪問を希望する。	対象外	<u>利用可能</u>
75歳以上の 二人暮らしである。	対象外	<u>利用可能</u>
介護サービスを利用している。	対象外	<u>利用可能</u>

新宿区福祉部高齢者支援課「情報紙訪問配布事業」で配布対象外でも、地域見守り協力員事業ならご利用いただける方がいます。

そのような方は、ぜひ地域見守り協力員事業をご利用ください。